

多摩西部支部公式 SNS

YouTube



LINE



発行所

東京土建一般労働組合
多摩西部支部
立川市栄町3-29-19
電話 042-535-3332(代)
発行責任者 畑山勝利



私たち建設職人が所属する東京土建一般労働組合は、日本のインフラを守る建設業界の発展を根幹に据え、労働環境の改善や賃金の引き上げ、後継者の育成、週休2日制の実現と定着などを目指して活動をしています。しかし、要求を実現させるためには『東京土建だけの要求』ではなく『市民(国民)の要求』とすることも重要となり、地域住民からの理解と支援が必要となります。

そのためには『東京土建』の知名度を上げ建設職人をアピールすることが必要です。支部では東京土建をアピールする場として11月19日(日)に立川駅北口にあるサンサンロードで第8回の土建フェスタを開催しました。当日は、各ブロックで建設業に特化した催し物を行う他、倒壊家屋救助訓練や上棟式でのお菓子撒き、住宅センターによる住宅相談、立川消防署の消火体験、昭和第一学園の吹奏楽、詩伍座による太鼓に演奏、アール・ブリュット立川の作品展示などを行いました。様々な催し物の参加者は543人となり、私たちの運動を地域アピールすることができました。

どけんフェスタ催し物の参加者数

担当	内容	計	おとな	子ども	担当	内容	計	おとな	子ども
1B	クロス貼り体験	82	40	42	アトリエアート塾	ワークショップ	63	50	13
2B	モザイクタイル	161	96	65		アートパフォーマンス	300		
	珪藻土塗り	73			消防署	消防署消火体験	100		
3B	塗装体験	88	76	59	健康生会	歯科相談	200		
4B	カンナ削り・丸太切り	102	67	35		健康チェック	300		
青年部	射的	265			住宅センター	住宅相談・防災展示	300		
事業所分会	缶バッジ作り	179			計		2213	329	214



倒壊家屋救助訓練



事業所分会 缶バッジ作り



3ブロック 塗装体験

2024年問題を考える！ 働き方改革は待ったなしだ！



2023年11月11日(土)、多摩西部・府中国立支部共催による事業主交流会が行われた。前半は今回の主題である来年4月より始まる「働き方改革」の講演、後半は交流会での名刺交換会が行われた。

まず講演は高田社会保険労務士事務所の高田聡史先生をお招きして短い時間ではあったが中身の濃いお話を頂いた。

私たち支部でも何回かことある毎にこの問題は話してきた。だが今一つピンとこなかった。それぞれに事業所の皆さんも今回の対策はしていると思う。しかし、半年を切ったことで流石に事業所の皆さんも不安や焦りを感じるのか熱心に高田先生の話に耳を傾けていた。交流会でも経営者の方たちが先生を捕まえて相談していたのが印象的だった。

私たちはこの何年か色々な政策を次々と打ち出されあれよあれよという間に制度や法律が変わり大変な時代になってしまった。

しかし、この流れに乗り遅れると置いてきぼりを食ってしまう。我々職人は今まで残業代など考えてこなかった。特に労働条件や残業時間の明確化、知らないでは済まないのだ。この法律に違反すれば労基署などの強制捜査「臨検」を受けることになる。先月から始まったインボイス、来年は電子帳簿、働き方改革、マイナカードと保険の一体化とまだまだ数え上げたらきりが無い、「どうする家康」どころじゃないが逃げるわけにはいかない。

今こそ私たち東京土建の仲間が一致団結してこの困難に立ち向かいましょう。

(事業所担当役員 白倉和行)

分会	1月現勢	年間目標	年間成果計	年間13%減目標	年間目標	年間成果	年間残
砂川	245	32	43	★ -11	4	3	1
けやき	245	32	34	★ -2	4	1	3
高松	295	39	52	★ -13	4	3	1
国立	150	20	18	2	3	1	2
立川南	186	25	22	3	3		3
富士見	221	29	32	★ -3	4	1	3
昭島中央	208	28	32	★ -4	4	★ 6	-2
玉川	244	32	24	8	8		8
拝島東一	259	34	29	5	5		5
拝島	337	44	43	1	4	1	3
事業所	716	94		-5	9	★ 14	-5
直属	777	102	201	★			0
合計	3883	511	530	★ -19	52	30	22

(12月1日現在)

4000人支部に向けた
年末拡大成果表

山梨の旅をシニアで満喫



10月29日(日)、シニア友の会は山梨県にぶどう狩りとワインの旅に行ってきました。朝方降ってきた雨も上り、立川を午前8時に出発して東中神で全員揃って八王子インターから中央道へ、今年は暑かったせいか山々もまだ紅葉もちらほらで濃い緑の山並みを見ながら昇仙峡へ。対岸に見える岩は何回見ても凄い一言です。そして影絵の森美術館へ藤城清治の影絵は一目見たとたん誰もが「わあー 綺麗」と声をあげて感動しました。また、山下清の絵は緻密に絵が描かれていて一流画家の凄さを感じました。昇仙峡を後にして武田神社を散策してぶどう園に行き、昼食のバーベキューを食べてぶどう狩りに、お腹パンパンで甲州ぶどう一房を4~5人で食べるのがやっとでした。なんで先にぶどう狩りをしなかったのと皆さん不満顔でした。シャインマスカット一房をお土産に貰ってワイン工場へ。試飲とワインを買って里の駅一宮で買物をして帰路へ。渋滞にありましたが国立分会の大森さんのクイズで社内を盛り上げてくれたので渋滞も気にならず予定より2時間位遅くなりましたが無事に帰ってこれました。

(高松分会 藤代進也さん)



11月17日(金)に全都建設労働者対都要求請行動として「建設国保の育成・強化、賃金を引き上げ、物価高騰から仕事と暮らしを守ろう！」をメインスローガンに掲げた予算要求中央総決起大会が行われました。当日は全建総連傘下の46建連から1812人(支部から20人)の仲間が東京都庁と日比谷公園に集まりました。集会の要求項目は、物価高騰を踏まえた請負単価の引き上げや労働者の賃金確保、建設国保の拡充に向けた育成、強化や担い手確保、建設アスベスト被害の根絶、消費税率の引き下げとインボイス制度廃止について訴えました。最後は東京駅に向けてデモ行進が行われ様々な要求実現に向けて訴えをしました。東京土建では、集会に参加できない仲間にも国や都に向けたハガキ要請行動を行っています。群会議でハガキの記入を依頼された際にはご協力をお願いします。

地域防災運動を進めよう



11月12日の立川防災訓練の様子

多摩西部支部では、立川・昭島の両市と有事の際に地域復興に向けた活動などを行う『防災協定』を結んでいます。また、地域の防災訓練や学習会を通して防災・減災に向けて取り組んでいます。

「命を守る」を考える防災学習

10月5日の日曜日、支部会館3階で防災学習を行いました。講師は静岡県から岡村先生をお招きして参加者は家族（幼児を含む）高齢者、国会議員さん、市議会議員さん、と幅広い人たちで勉強しました。今回は参加者に配慮してもらい講演内容のレベルを下げて講演をしてくれたため、自分としてはわかりやすかったです。

まず、テーブルを6班に配置して、机の上に日本地図が印刷された模造紙があり、様々な色のマジックが用意され、そこに先生からの質問を書き入れていく学習方法でした。たとえば、今まで大きな災害が何処で起きたか、その場所を記録する。南海トラフは何処から何処の範囲を指すのか、それを子供たちと一緒に地図に記入する作業をしました。

次に先生から「みなさんの中に避難所を利用した人がいますか」という質問があり、問いに対して高齢の方から防空壕に行ったことがあると発言があり笑いが起こりました。先生が「確かに避難所に間違いありませんね。でも古い話ですね」と感心していました。

避難する時に水圧が膝までどのぐらいのものかという場面で、自分が先生に指名を受けて、前に出てバネ秤を5kgにセットして足に巻き付けて歩くと足が自由に動けないと実感しました。避難する時は長靴よりもスニーカーの方が良いそうです。そして水が濁っているので長い棒で地面を突きながら歩く。そしてビデオの画面で、濁っている水の中にマンガでうんちの絵が出てきます。下水が溢れて衛生的に良くないです。注意しましょう。

最後に気になったことがあります。南海トラフの地震が起きた場合、どのぐらいの被害が起こるかという質問で、救助する人が全国にどのぐらいいるか？（自衛隊が18万人、消防庁、警察庁）全然たりません。国民全体が助かるのは不可能です。お役人やメディアは、国民の不安を煽るので言いません。防災知識を持って自分の命は自分で守るという強い意志を持ち、みんなで助け合っていきましょう。とてもわかりやすい防災学習でした。

（仕事対策部長 栗野万壽夫）

青年部が京都の宮大工の研修を



宮大工について講演を受ける青年部員

11月11、12日に多摩西ブロック青年部のイベントとして、京都建物見学研修旅行を行いました。支部からは青年部長、副部長、担当書記の3人の参加でした。まず1日目は、京都についてから「匠工堂」という宮大工の工房にて見学をしました。工房には、丁度手直しをしているあるお寺の屋根部分があり職人さんの説明を聞きながら細かな装飾等に感嘆するばかりでした。また、社長の横川さんのお話で印象的だったのは「こういう宮大工の世界こそホームページは勿論 SNS の活用が必須」とおっしゃっていたことです。主に施主になるお寺や神社の方は意外と SNS をよく見ているそうでそこに「匠工堂」の情報が少しでも出てくるとすぐに連絡があるそうなのでここから営業につながったことが何件もあるとのことでした。2日目は、京建労本部にお邪魔して青年部員同士の学習会として「働き方改革」について学びました。若い世代だからこそこれからの建設業界での働き方を考える大変良い機会になりました。学習会が終わり、近くの飲食店で、青年部員同士の交流会を行い、仕事の悩みや組合での青年部の活躍の仕方など様々な意見を交換出来ました。2日間という短い研修ではありましたが、参加した部員も新しい情報や気づきが得られた充実した研修になりました。

平和を守れ！ オスプレイいらない！



11月26日(日)に福生市・多摩川緑地福生南公園にて650人の参加で行われました。開会前には青年たちから世界中で戦争により命が奪われることの無いよう熱い訴えがありました。日本がとるべき政治の舵を「国民のいのち」をまもる方向に転換させるために参加者全員が気持ちを一つにしました。会場にはこれまで横田基地に配備されたオスプレイの写真があり、機関銃を後方に向けた状態で訓練を行っている写真に参加者は大変驚いていました。支部からは委員長含め5人が参加し、寒い中2.2kmのデモ行進を行い地域市民に呼びかけました。

仲間の思い出募集



私は、昭和29年11月18日に鉄工所で生まれました。小さい頃から鉄工所で育ったせいか作り物が好きでした。私が小学校4年生の時に父が3階の鉄骨から転落事故で片足が不自由になってしまいました。父が足を引きずりながら仕事をしているのを見て、その時自分が父の仕事に役立つよう、手伝いを始めたのがきっかけで鉄骨の仕事を始めました。

最初の頃は、小学校から帰ると鉄骨（C型鋼）にサビ止めを塗っておけとか、ガセットプレートやアングルに穴をあけておけとかターンバックルの丸棒にネジを切っておけと張り紙がしてありました。目の前が多摩川という事もあり、友達が遊びに行く姿を見ると、とてもうらやましかった思い出があります。早く遊びたいため、どうしたら早く仕事が終わるか色々なアイデアを考えました。高校生の頃には、溶接や溶断も出来るようになり、鉄骨の仕事が楽しくなりました。

自分で制作した鉄骨に登って組み立てる醍醐味もあり、誇りに思う仕事だと思います。

(玉川分会 5群 粟野万寿夫)

100万人署名の協力を!!

全国の建設組合の母体である全建総連では、2024年3月末を期限に『持続可能な建設業の実現に向けた100万人署名』を取り組んでいます。東京土建多摩西部支部でも11月より3月末までの5か月間で約8,000筆の目標で取り組んでいます。

組合員やご家族を中心に声掛けを行い、みなさんの力で建設業を発展させる署名にご協力ください。

要望項目

- 1、労働者雇用改善、賃金水準引き上げと環境整備など
- 2、若年層の入職・定着
- 3、建設キャリアアップの普及促進

● 請願署名を記入する際の注意点 ●

- ① 同じ住所でも「同上」「//」とはせず、氏名毎に住所を記入してください。
- ② 住所は東京都から記入してください。
- ③ 参議院宛て、衆議院宛てをセットで記入してください。
- ④ ご家族、知人、友人にも声掛けと署名のお願いをしてください。

申請用紙表 前

建設労働者の雇用改善、賃上げ手続等・育成に関する請願書

建設業は働き方改革の推進、適切な賃金水準の確保をはじめとする労働環境や待遇の改善が喫緊の課題であり、そのための持続可能な建設業の実現に向けた取り組みが急務とされています。建設業では全従業員に対して建設労働者の雇用改善に関する署名活動が行われ、建設業の持続可能な発展・発展に資する取り組みの推進が期待されています。この署名活動により十分な署名が集められれば、建設労働者の雇用改善に関するキャリアアップシステム(CCS)の拡充と併せて、建設労働者の雇用改善、賃上げ手続等、育成に関する署名活動が実現し、労働者の就業環境が向上することとなります。同じ内容の署名を2人以上で集めると、署名の効率が向上します。

- 建設労働者の雇用改善、賃上げ手続等・育成に関する署名を記入する際に、同じ内容の署名を2人以上で集めると、署名の効率が向上します。
- 建設業に属する建設労働者(建設労働者)の署名を記入し、建設業の持続可能な発展・発展を促進すること。
- 建設キャリアアップシステム(CCS)の普及促進を促すこと。

氏名	住所

※ 署名欄は必ずこのように記入してください。氏名・住所は必ず正確に記入してください。

全日本建設労働組合連合会(全建総連)

申請用紙表 後

建設労働者の雇用改善、賃上げ手続等・育成に関する請願書

建設業は働き方改革の推進、適切な賃金水準の確保をはじめとする労働環境や待遇の改善が喫緊の課題であり、そのための持続可能な建設業の実現に向けた取り組みが急務とされています。建設業では全従業員に対して建設労働者の雇用改善に関する署名活動が行われ、建設業の持続可能な発展・発展に資する取り組みの推進が期待されています。この署名活動により十分な署名が集められれば、建設労働者の雇用改善に関するキャリアアップシステム(CCS)の拡充と併せて、建設労働者の雇用改善、賃上げ手続等、育成に関する署名活動が実現し、労働者の就業環境が向上することとなります。同じ内容の署名を2人以上で集めると、署名の効率が向上します。

- 建設労働者の雇用改善、賃上げ手続等・育成に関する署名を記入する際に、同じ内容の署名を2人以上で集めると、署名の効率が向上します。
- 建設業に属する建設労働者(建設労働者)の署名を記入し、建設業の持続可能な発展・発展を促進すること。
- 建設キャリアアップシステム(CCS)の普及促進を促すこと。

氏名	住所

※ 署名欄は必ずこのように記入してください。氏名・住所は必ず正確に記入してください。

全日本建設労働組合連合会(全建総連)

女性の会

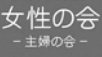
～50周年記念式典～

11月3日東京土建多摩西部支部女性の会発足50周年記念式典が昭島のフォレスト・イン昭和館でとり行われました。

土建本部主婦の会からは、会長及び副会長、多摩西ブロック長とブロックの各会長さんを来賓としてお招きし祝辞を頂戴いたしました。女性の会担当役員の清水委員長のご挨拶と乾杯の音頭の後、飲食と懇談を楽しみました。



● 定例会12月は、お休みです



Facebook 更新中!!

定例会や四役会議、イベントの情報など配信

多摩西部支部女性の会 お問い合わせ先 042-535-3332 担当：吉野

